

# ミュージアム・エデュケーション研修参加報告

川口芳矢

公益財団法人横浜市緑の協会 よこはま動物園

文化庁が主催するミュージアム・エデュケーション研修に参加した。平成 23 年度に実施された第 1 回から昨年度実施された第 8 回までは、美術館・歴史博物館のみを対象に「ミュージアム・エデュケーター研修」として開催されていたが、今年度は自然科学系を含む全ての博物館が対象となり「ミュージアム・エデュケーション研修」と名称が変更された。研修の趣旨は、「博物館の学芸担当者等に対し、博物館における教育普及を企画・運営するために必要な専門的知識及び技術を習得する研修を実施し、その資質の向上を図る」とされており、博物館に勤務する学芸担当職員、または博物館における教育普及に関心のある者で、文化庁が特に受講を認める者が受講対象であった。また、前後期計 5 日間の全課程を受講することが条件となっていた。

今年度実施の第 9 回は、「多様な学び手とのかかわりを考える」と副題が付けられており、前期日程が 9 月 25 日から 9 月 27 日の 3 日間、後期日程が翌年 2 月 6 日・7 日の 2 日間となっている。会場は、前期が東京都美術館、後期が国立科学博物館である。参加者は 58 名で、うち動物園水族館関係者は 8 名であった。現在、前期の 3 日間が終了しているのみではあるが、行われた講義は博物館教育に関する総論から幼児、学校、大人など各年代に向けた博物館教育のあり方や事例の紹介、教育プログラムを作成する際の留意点を学びながらのプログラム作成ワークショップなど多岐に渡った。

今回、動物園水族館からの参加が初めてとなった本研修について、現在終了している前期日程の研修内容を報告し、共有したい。